

●工事状況

3月から始まった既存病院と新病院をつなぐ上空連絡通路が今月になり徐々に形となってきました。外装工事では外壁の塗装や、屋上部分で建物の生命線ともいえる防水工事が着々と進んでいます。

内装工事では1階~7階と全てのフロアで天井や壁の仕上工事（クロス・塗装・器具取付）が進み、少しずつ室内の完成形が見えてきました。

また、建屋を覆っていた外部足場の解体が始まり、建物の外観が公道からも見えるようになりました。

竣工に向け、素晴らしい建物をお渡しできるような厳しい目線で品質管理を行ってまいります。

定点写真

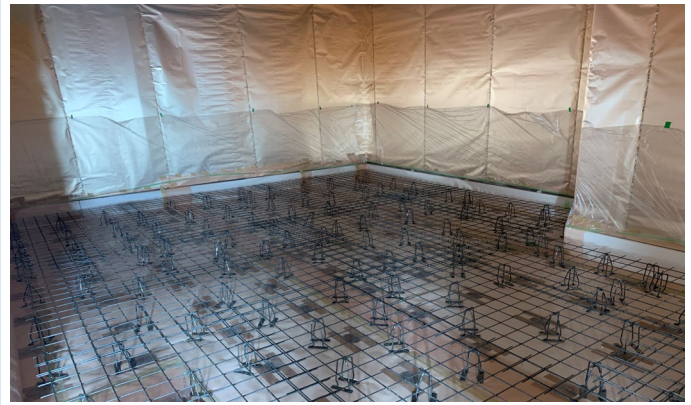


●壁の向こうは・・・？

右の写真は、MRI室と呼ばれている室の施工状況の写真です。MRIとは日本語で磁気共鳴画像診断のことで、主に磁場と電波を利用して体内を画像化し医療行為に活用することを目的とした室です。これらの磁場と電波は部屋の外へ漏洩しないよう遮断する必要があります。珪素鋼板や銅箔等を用いることで遮断できます。これをシールドといいます。

これから通常の室と同様に壁面・天井面・床面の仕上が行われ、見た目ではわからなくなります。目に見える仕上面の裏側では何層にもわたる工夫がなされているのです。

この部屋は何の部屋、・・・？



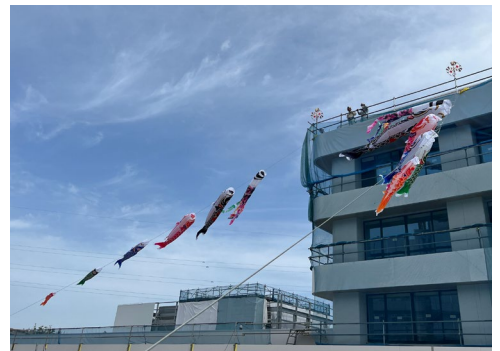
●工程

	令和5年 4月	工事進捗率	66.8%
外構工事	上空連絡通路工事/ 付属棟工事	5月	上空連絡通路工事/ 付属棟工事
仕上工事	軽量間仕切壁/天井工事・内装仕上工事・外装工事		軽量間仕切壁/天井工事・内装仕上工事・外装工事
設備工事	外構工事・建屋内設備工事・機器据付工事		機器据付工事・試運転調整準備

●コラム《鯉のぼり》

4月14日(金)に入院中の子供たちに向け鯉のぼりを掲揚しました。鯉のぼりの起源は中国ですが、現在は日本だけの風習になります。江戸時代、将軍に男の子が生まれると旗指物や幟(のぼり)を立てて祝う風習がありました。やがてこれが武家に広がり、男の子が生まれた印として幟を立てるようになりました。その後、江戸庶民の間で鯉を幟にするアイデアが生まれ武家の幟に対して鯉のぼりがあげられるようになったといわれています。

今掲揚している鯉のぼりは既存病院の出入口からも見えます。5月2日(火)まで掲げているのでぜひ見に来てくださいね。



職長会でこのぼりを掲揚しました